

2026 年度「志」入学試験 最終選抜問題
医学部保健学科 看護学専攻

プレゼンテーション課題

- ・課題は次のページに書かれています。発表資料作成の時間になるまで中を見ないでください。

プレゼンテーション方法

1) 発表資料作成

- ・制限時間は1時間です。
- ・A4サイズの指定用紙にまとめてください。枚数制限は10枚です。
- ・指定用紙の左上枠内に、受験番号を必ず記載してください。
受験番号を指示されたところ以外に記入した場合や受験番号の数字が判別できない場合、その資料は無効となります。記入漏れ、記入間違いがないようにしてください。なお、1と7、0と6、4と6、5と8、7と9等の数字は、明確に記入してください。
- ・あなたの考えを述べるために必要な内容を、自由に（図表を用いるなど）記載してください。

2) 発表時間

10分程度で発表してください。その後、質疑応答を行います。

3) 発表方法

- ・1)で作成した発表資料用紙を、電子ファイルとして取り込み、プロジェクターを用いてスクリーンに映します。資料を用いながら発表してください。
- ・試験室に準備してあるレーザーポインターを使用することができます。
- ・マイクは使用しません。
- ・提出した発表資料以外のものを使用することはできません。眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）に限り使用できます。

4) その他

- ・1)で作成した発表資料用紙は返却いたしません。

2026年度「志」入学試験 最終選抜問題
医学部保健学科 看護学専攻

【問題】

リハビリテーションには様々な医療職が関わっていますが、看護師がリハビリテーションを行うことの意義について、資料を参考にあなたの考えをプレゼンテーションしてください。

【資料】

WHO（世界保健機関）は1981年にリハビリテーションを「リハビリテーションは、能力低下やその状態を改善し、障害者の社会的統合を達成するためのあらゆる手段を含んでいる。リハビリテーションは障害者が環境に適応するための訓練を行うばかりでなく、障害者の社会的統合を促す全体としての環境や社会に手を加えることも目的とする。そして、障害者自身・家族・そして彼らの住んでいる地域社会が、リハビリテーションに関するサービスの計画と実行に関わり合わなければならない。」と定義しています。

また、日本リハビリテーション看護学会は、リハビリテーション看護を「疾病・障害・加齢等による生活上の問題を有する個人や家族に対し、障害の経過や生活の場にかかわらず、可能な限りADL（日常生活活動）の自立とQOL（生命・生活・人生の質）の向上を図る専門性の高い看護」と定義しています。

ADL（Activity of Daily Living）とは日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」動作のことです。また、QOL（Quality of Life）とは生命・生活・人生の質と訳され、一般には生きる上での満足度（快適さ）をあらゆる主観的な概念です。医療では、治療や療養生活を送る患者の身体的、精神的、社会的、経済的状况など、すべてを含めた生活の質を意味します。

【出題の意図・評価ポイント】

リハビリテーションは、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）といったリハビリテーション専門職だけが行うものではなく、その実施には、看護師が重要な役割を果たしていることを、質疑応答において示すことができるかを、「主体性」、「思考力」、「表現力」、「判断力」、「志望専攻への適正」の視点から、総合的、俯瞰的に評価します。

解答例は以下の通りです。

- 看護師は、病棟での日常的なケアを通じて、理学療法や作業療法といった専門的な介入で取り戻した日常生活活動（ADL）の向上というリハビリテーションの成果を患者の生活に定着させる役割を担っていること。
- 看護師は、リハビリテーションの実施に際して、安全を確保し、リハビリテーションが最大の効果を発揮するための患者の全身管理を実施していること。
- 看護師は、多職種連携において「橋渡し役」として機能することで、包括的かつ患者中心のケアの実現に寄与すること。
- 看護師は、医療機関においてだけでなく、地域包括ケアシステムにおいて、在宅医療、訪問看護、リハビリテーションの提供なども担っていること。